



つくば市議会だより

SUKUBA-28

議会をもっと知りたくなる情報紙

12月定例会 No.180

令和6年(2024年)2月1日発行

発行：つくば市議会

編集：広報広聴委員会

| | |
|-------------|-------|
| 一般質問 | P 2～6 |
| 行政視察報告 | P 7 |
| 特集 | P 8～9 |
| 委員会審査・議案等審議 | P10 |
| 議決結果・賛否 | P11 |
| 特集 | P12 |



筑波山梅まつり



つくば市議会チャンネル
YouTubeで動画を配信しています



チャンネル
登録
お願い
します

12月定例会ハイライト

一般質問 19名の議員が白熱の議論を展開

議案審議 議案など39件、請願1件、意見書案3件を審議

3月定例会開催予定

- 2月13日(火) 開会
- 27日(火) 会派代表質問
- 28日(水) 一般質問
- 29日(木) 一般質問
- 3月1日(金) 一般質問・総括質疑
- 4日(月) 予算決算(総務文教・福祉保健)・総務文教・福祉保健委員会
- 5日(火) 予算決算(市民経済・都市建設)・市民経済・都市建設委員会
- 6日(水) 予算決算(総務文教・福祉保健)・総務文教・福祉保健委員会
- 7日(木) 予算決算(市民経済・都市建設)・市民経済・都市建設委員会
- 18日(月) 予算決算委員会
- 22日(金) 討論・採決・閉会



つくば市議会だよりが
スマートフォンで読めます



マチイロ



かわくぼ みなみ
川久保 皆実 議員

(つくばチェンジチャレンジ)



■ 保育所からの抜け出し防止対策

(質問) つくば市の公立保育所では、令和5年11月に2件の抜け出し事案が発生した。再発防止のための対策を伺う。

(答弁) 保育施設を所管するこども部の職員が、令和5年12月末までに、全23公立保育所において危険箇所がないか再点検する。さらに、全保育士に対して、改めて児童の見守りを徹底するよう指導する。

(質問) 再点検で挙げた危険箇所への対応スケジュールを伺う

(答弁) すぐに対応可能なものについてはすぐに対応し、予算措置等が必要なものについては、令和6年2月末までに対応スケジュールを決定し、令和6年度以降そのスケジュールに沿って対応する。

(質問) 公立保育所のフェンスや門扉の隙間および高さについて、抜け出し防止のための客観的な基準を設定し、それを踏まえて点検や整備を行った方が良いのではないかと。

(答弁) 公立保育所におけるフェンスや門扉について、今回の事例を踏まえ、隙間に関しては幅11cm以下を暫定的な基準として早急に点検を行う。次に、フェンスなどの高さの具体的な基準の設定については、各公立保育所の構造や個々の児童の特性などにより早急かつ一律に設定するのは難しいため、各保育所の構造を踏まえた効果的な基準がどのようにつくられるかを、他自治体の事例も踏まえ令和6年9月末をめどに早急に検討する。

このほか、不登校児童生徒への支援策、改正児童福祉法施行への対応について質問しました。



きむら しゅうじ
木村 修寿 議員

(自民党政清クラブ)



■ みどりの南小学校・中学校について

(質問) 令和6年4月に開校予定であり、学校敷地内に児童クラブが開所されるが、以下について伺う。①開校準備委員会の委員構成、協議、決定事項、②谷田部南小学校への対応、③通学路安全対策、④常磐高速道路における防音、⑤児童クラブの運営、⑥市民の施設利用に関する概要、⑦市民が利用できる施設の使用手続き。

(答弁) ①保護者と教職員の各代表を委員とし、校名、校章、制服、体操服および学園名について協議・選定している。開校準備委員会での協議事項は、おおむね終了し、今後は保護者組織について協議を予定している。②児童数減少に対し、みどりの南小学校の通学区域内の児童は、谷田部南小学校も選択できることとしている。③開校準備委員会や新設校に通学予定の児童生徒の保護者からの意見、市のデータを基に、関係機関と協議し、対応可能箇所には必要な措置を講じている。④過去2回、NEXCO 東日本^{*}へ遮音壁の設置要望を提出し、常磐自動車道北側および南側の既に整備が進んでいる住宅地には、設置する旨の回答があったが、建設中の学校付近については回答が得られておらず、引き続き協議を進める。⑤保育などに関する豊富な知識・経験を有する、市職員の管理職を1名配置し、公設公営で運営する。保育業務は委託し、民間の運営ノウハウを活用した質の高いサービスを提供する。⑥令和6年10月までには、図書室、家庭科室、音楽室および多目的室の学校休業日の開放を予定している。⑦家庭科室、音楽室および多目的室は、申請先を教育委員会とする予定である。図書室は、図書の閲覧や学習のための利用とし、事前の申請は必要ない。

このほか、認知症、一般廃棄物の最終処分について質問した。



はしもと けいこ
橋本 佳子 議員

(日本共産党つくば市議団)



■ 就学援助費の必要対象項目すべてに対応を！

(質問) 憲法が保障する教育は無償という中で、隠れ教育費として入学準備費や教科書より多い副教材費、学校給食費がある。低所得家庭の子育て支援として就学援助費があるが、つくば市は、国が示す支給費目全てには対応していない。無償化実現のためにも品目を増やすことを求める。市が対応していない費目を加えた予算はいくらか？

(答弁) 市では、国が示す補助対象費目のうち、学用品費、通学用品費、校外活動費、新入学児童生徒学用品費、修学旅行費を支給している。クラブ活動費など、市で実施していない費目の支給は、他市町村の状況などを調査・検討していく。国が示す補助対象費目のうち、市の支給対象外費目を令和4年度の実績から算出すると、小学校および義務教育学校前期課程では、クラブ活動費約170万円、生徒会費約590万円、PTA会費約440万円、卒業アルバム代約190万円、オンライン学習通信費約1,790万円で、計約3,180万円となる。中学校および義務教育学校後期課程では、クラブ活動費約2,130万円、生徒会費約390万円、PTA会費約300万円、卒業アルバム代約210万円、オンライン学習通信費約990万円で、計約4,020万円となる。全体で、約7,200万円となる。

(要望) 実現可能な金額である。早急な実現を求める。

このほか、市営住宅の連帯保証人規定の削除、正規職員の増員と会計年度任用職員の処遇改善、東海第2原発事故での避難計画変更に対する水戸市との協議および再稼働に対する市長の見解について質問しました。



こくぼ たかし
小久保 貴史 議員

(つくば自民党)



■ 桜川の逆流による災害対策

(質問) 桜川などの樋門、樋管の確認状況と管理体制について伺う。

(答弁) 市内における桜川の樋管の数については、令和4年度までに茨城県土浦土木事務所において調査した結果53箇所あるとの報告を受けた。そのうち41箇所は、つくば市、茨城県及び土地改良区により現地確認を行い、市が管理すべき樋管が7箇所、茨城県土浦土木事務所が管理している樋管が1箇所、管理者が明確でない樋管が33箇所あることが確認できた。残り12箇所についても、令和6年度以降順次確認していく予定である。なお、市が管理すべき樋管7箇所のうち泉地区2箇所と下田中地区1箇所の樋管については、令和5年度に両区長と排水樋管の維持管理や操作等に関する協定書を締結した。管理者が明確でない樋管や、現地確認ができていない12箇所についても、引き続き関係機関と調整を図り管理体制の構築に努めていく。

(要望) 管理者が明確でない場所についてスピード感を持って確認すること、全ての管理体制の構築を要望する。



このほか、剪定枝や刈草・刈芝の堆肥化リサイクル施設についてや、農地中間管理機構を活用した大区画農地基盤整備について質問した。



しおた ひさし
塩田 尚 議員

(山中八策の会)



■ 高校難民問題について

(質問) 令和 4 年 9 月議会でこの問題について質問した際、市立高校の建設は難しい、県立高校新設に向けたあらゆる努力を続けていくとの答弁があった。その結果、現状はどうなっているのか？いずれにせよ市内の高校に進学できない生徒が大勢いる現実を直視し、緊急な支援策が必要と思う。通学支援策として、通学手当を市が支給すべきと思うが、市の見解は？

(答弁) 市内高等学校の定員不足については、平成 29 年度から県に要望しており、令和 5 年 8 月にも市長が県知事に対し、重点要望事項として「当市内で一定の交通利便性のある地域への県立高等学校の早期設置及び可能な学校からの順次の定員増」を要望した。また、県の担当部署へのデータ提供や意見交換なども行い、令和 6 年度の牛久栄進高校での 1 学級増加などは、市の要望が一部認められた結果と考えている。引き続き県立高等学校の早期設置および可能な学校からの順次定員増の実現に向け、県へ働きかける。高校生への通学費支援を求める市民からの声はこれまでもあった。高額な通学費負担を理由に、進学の実機が狭まることは、教育の機会を奪うものであり、望ましい状況ではない。市内に住む高校生が、自身の能力や適性、興味関心にあった進路の選択を妨げられないよう、現在、定期券購入の補助などの支援ができるよう進めている。



(要望) 支援は公共交通機関を利用する高校生に限らず、スクールバスなどの利用者にも広範に実施していただきたい。



あさの えくこ 議員

(つくば・市民ネットワーク)



■ 人権課題「外国につながる子ども」の教育

(質問) 市内義務教育年齢の外国籍児童の就学状況不明者は昨年 81 人、今年は 121 人を数える。この人数を減らす取り組みについて伺う。

(答弁) この人数については、現時点では、住民登録の際に、学齢年齢の児童生徒がいる場合には、学務課において就学希望の確認や通知、家庭訪問などの手続きを行っており、全く市で把握できていないというわけではない。とはいえ、不就学の理由などがはっきりしない子どもがいることも確かなので、今後は関係部局で協議を行い、どのようにしたら隙間をなくして受け入れられるかということを考えていきたい。

(質問) 上記の子どもが高校に進学するにあたり、進学ガイドブックを対象者に配布することをお願いしたいかがか。

(答弁) ガイドブックの配布については前向きに検討していきたいと考えている。

(質問) 来日間もない児童生徒に集中的に日本語や日本での学校生活支援を行うプレクラスの設置についての考えを伺う。

(答弁) 高校に進学する外国につながる子どもたちの増加は、市が短期的な滞在ではなく、母国に必ずしも帰らず日本で生き続けるという思いがあると思うので、プレスクールやプレクラスの必要性はあるのではと考えている。現場では先生やボランティアの方々頑張ってくださっているが、該当する子どもたちが少しでも良い環境で過ごし続けられ、その先も日本で生き続けることができるよう、より踏み込んだ形で包括的な支援が必要だと考え、取り組んでいきたい。



やまなか まゆみ
山中 真弓 議員

(日本共産党つくば市議団)



■ 洞峰公園の維持管理費 年額約 4800 万円！

(質問) 市は、市民が公共施設を安全で快適に利用できるよう、長寿命化計画を策定し利用環境の改善、コスト縮減および財政負担の平準化を図っている。洞峰公園内施設も市が定める長寿命化計画に則り、維持管理計画を立てるべきと考えるがいかがか。

(答弁) 洞峰公園内施設のマネジメントの方針については、茨城県県有建築物長寿命化実施基準およびつくば市学校施設長寿命化計画に基づき、目標使用年数を 80 年としている。これまで県は、長寿命化計画および「現時点で不具合が生じている施設については、しっかりと修繕してから市に移管したい」との考えから、施設の点検を実施し、施設修繕などを行っている。これらを踏まえ、目標使用年数の 80 年を実現するために必要な施設修繕費を、年額約 3500 万円と想定した。洞峰公園が市に移管された場合には、施設の健全度調査を実施した上で、市が策定しているつくば市スポーツ施設個別施設計画などを参考に、公園施設長寿命化計画へ反映させ、建築物の目標使用年数を 80 年として、維持管理に努めていく。

(要望) 最初からスポーツ施設個別施設計画に則り維持管理費を算出すべきである。同計画の築 60 年で行う大規模改修費を算出すると、総額約 18 億 4 千万円、残 38 年で平準化すると年額 4840 万円となり、3500 万円と大きな差がある。

このほか、吾妻交流センターの跡地活用、北条日向団地の駐車場、水道事業経営戦略、児童発達支援センターについて質問しました。



はまなか かつみ
浜中 勝美 議員

(公明党つくば)



■ 農業支援対策について

(質問) ①地域計画の取り組みとして、農家の高齢化や、条件が悪いことなどにより、耕作を放棄されている農地を今後どうしていくか伺う。②計画策定のため、令和 5 年 12 月に行った地域での話し合いについて状況を伺う。

(答弁) ①国の地域計画策定マニュアルでは、様々な努力を払っても農業上の利用が見込めない農地については、粗放的利用や、より省力的で簡易な方法で管理していく「保全等が行われる農地」に位置付けることができるかとされている。また、このような農地が集積すれば、鳥獣緩衝帯や林地化などの役割を担うこともできるとしているため、地域計画の策定に向けた地域の座談会で一体的に議論していくことが必要と考えている。② 12 月に行った座談会については、筑波交流センターにおいて筑波地区と大穂地区の 21 経営体が対象である。話し合いの中身については、今後の経営意向、後継者の有無などについて事前にアンケートなど行い、参加できなかった担い手の意向についても把握しながら座談会を行った。

(要望) 地域計画は、10 年後に目指すべき農地利用の姿である目標地図の素案を作成し、それを踏まえ策定することとなる。今後の話し合いと目標地図の策定については、およそ市内の小中学校区域をベースに考えていただきたい。

このほか、糖尿病治療中断者対策について質問しました。



かわむら なおこ
川村 直子 議員

(つくば・市民ネットワーク)



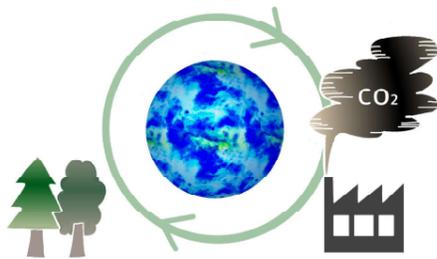
2050 年、実質ゼロカーボンの目標へ！

(質問) 猛暑や豪雨など、気候危機は命の危険を伴う状況。市民も事業者も意識が変わりつつあるが、CO2 削減への具体的方策の情報を得にくい。関連情報の周知や広報の促進について市の考えは。

(答弁) 脱炭素施策に関する周知や気候危機の共有を図る広報については、市広報紙や HP などを活用するほか、令和 5 年度は「かわら版」を発行するなど、幅広い情報発信に努めてきました。多くの市民に脱炭素や気候変動への関心を持っていただくことは、市民の行動変容を促す第 1 歩目となることから、今後は SNS など積極的に活用し、更なる情報発信に注力していく。また、エコドライブやグリーン購入、照明の LED 化などについて、つくば環境スタイルサポーターズニュースを通して情報提供を行い、啓発を行っていく。市でも随時相談などに対応しているが、あわせて、茨城県地球温暖化防止活動推進センターなどの既存の団体などと連携し、気軽に相談できる窓口の紹介などを検討する。

(要望) 「市へ相談していい」と市民に伝わっていない。相談業務をもっと明確に位置付け、広報すべき。

CO2 削減に効果的なリフォームや機器導入について相談出来る「うちエコ診断」「省エネ診断」の周知と併せ、積極的対策を要望する。



こもりや さやか
小森谷 さやか 議員

(つくば・市民ネットワーク)



すべての人が「住みよいつくば」へ！

(質問) 「情報・コミュニケーション条例」は、多様な障害により情報の取得やコミュニケーションが難しい人が不自由なく社会生活を送れるよう、環境整備を目指すものである。制定に向けての進捗は。また、条例制定「後」が大事であり、条例の理念を実現するための施策をどのように展開するか議論する場が必要であるとする。市の考えは。

(答弁) 情報・コミュニケーション条例制定の進捗については、令和 4 年 5 月に「障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法」が施行されたことを踏まえ、制定に向けて、先行自治体の情報収集などを行っている。今後、障害者本人や家族、障害者団体などから、情報取得の困難さやコミュニケーションに関する課題、行政や市民の役割などについてのヒアリングを、令和 5 年度内に開始する予定である。制定時期については、令和 7 年度当初に制定できるよう進めていく。情報・コミュニケーション条例の制定の過程でも、障害者自立支援協議会を活用して、情報へのアクセシビリティやコミュニケーション施策推進に関する事、施策に関する事など、広く意見が聞ける場の設置を検討する。

(要望) 協議の場をしっかりと条例に位置付けて欲しい。すべての部署に関わる条例なので各部の取り組みをお願いしたい。

このほか、教員に対する指導と支援体制について質問しました。



いのおか ひろゆき
飯岡 宏之 議員

(自民党政清クラブ)



洞峰公園のアンケートはなぜ記名式なのか？

(質問) 今回の洞峰公園の無償譲渡についてのアンケートが記名式だが、他自治体のアンケートを見ると、アンケート後のフォローや回答が必要な調査は記名式もあるが、市民の意識を広く知りたい場合はほとんどが無記名式だ。記名式は、答えづらい、本音を書けないと言うデメリットがあり、本当の意識調査に繋がらないと言われている。それにもかかわらず記名式にした理由は「誰でも何でも書いてしまうから」というが、その根拠と前例について聞きたい。

(答弁) 洞峰公園に関するアンケートについては、令和 4 年 7 月に県が実施した「洞峰公園パーク PFI 事業に関するアンケート」において、氏名および住所の記入を必須としており、現在の公園の環境を守りたいとする意見が数多く寄せられた。市が実施したアンケートについても、同一人による複数回答を防止し、洞峰公園に対する意見を集約することが重要であることから、氏名および住所の記入を必須とした。アンケートの記述式と無記名式には、おのおのでメリット、デメリットがあると思うが、令和 4 年度の県によるアンケートが記名式だったことに倣い、回答者が真面目に回答しやすいという部分を重視して、記名式とした。記名式の前例としては、県が行ったパーク PFI 事業に関するアンケートと、クレオに関する意見募集について把握している。

このほか、新設校開校における栗原小学校の今後、高エネ研南側用地の防災拠点早期着工に向けて事業者への市の働きかけについて質問しました。



みながわ ゆきえ
皆川 幸枝 議員

(つくば・市民ネットワーク)



気候変動に対応した防災対策を！

(質問) 気候変動による豪雨が各地で発生している。また、国の地震本部の発表では震度 6 弱以上の地震が 30 年以内に発生する確率が、茨城県でも 26% 以上と予測されている。想定している災害リスクについて伺う。

(答弁) 県が作成した地震被害想定調査報告書および洪水浸水想定区域図の被害想定を参考にしている。地震については、県南部の地震では、つくば市で最大震度 6 強が想定されている。水害については、既に小貝川・鬼怒川・桜川・谷田川の洪水浸水想定区域が指定され、最大 5 m を超える浸水や長期間の浸水が想定されている。また、令和 5 年 10 月に 12 河川が追加指定され、牛久沼周辺についても今後追加される予定である。

(質問) 次に、備蓄および避難について伺う。

(答弁) 最低でも 3 日分、大規模災害に備えてできれば 1 週間分の食料や飲料水を、家庭で備蓄しておくよう周知している。避難については、災害発生の危険度と市民が取るべき行動を 5 段階の警戒レベルで伝えている。それぞれの状況に応じて、避難所への避難に限らず、親戚宅、知人宅などへ避難する分散避難や、屋内での垂直避難など、自分に合った避難方法を普段から考えておくよう啓発している。

(質問) 広範囲に災害が起きた場合の近所でのたすけあいの仕組み作りのために、地区防災計画策定が必要。策定予定は怎么样了か。

(答弁) 今後は、洪水浸水想定区域内のリスクが高い地区を優先に、策定支援を行いたい。

このほか、学校給食と有機農業推進について質問しました。



かねこ かずお
金子 和雄 議員

(新社会党つくば)



市域を運行する民間路線バスについて

(質問) バス路線の廃線や縮小、路線バス事業自体の廃業などが全国的な問題となっている。また、令和 6 年 4 月から施行される運転士の労働時間の改善基準告示が改正されることで、運転士不足が顕著となり、市域運行の民間路線バスの減便など、市民の利便性低下が懸念される。①民間バス路線を維持するための市の事業、②「桜ニュータウンーつくばセンター線」の廃線経緯および地元住民との協議状況について伺う。

(答弁) ①市域を越えて運行する生活維持に必要なバス路線を対象に、茨城県バス運行対策費補助金交付事業として、運行経費から運賃収入を差し引いた赤字分を、国、県、市および当市を跨ぐ路線を運行する自治体で負担している。また、新型コロナウイルス感染症対策や燃料費高騰の影響を踏まえ、内閣府の地方創生臨時交付金を活用し、市内運行の路線バス事業者などに支援金を交付している。②当路線は利用者が伸び悩み、事業採算性を確保できていなかった。関東鉄道株式会社は、令和 3 年 12 月に廃線の届出を提出して半年後の廃線を予定していたが、沿線区会による住民への意向調査や市職員による乗降調査などの結果を踏まえ、最終期限である届出から 1 年後の令和 5 年 1 月末をもって廃線とした。沿線区会役員などとは廃線前に 4 回協議し、沿線地区でのアンケートの結果報告や廃止後の移動手段などについての意見交換を行った。廃線後は、代替路線の検討や移動手段確保などについて、3 回の意見交換を実施している。

このほか、児童発達支援センターについて質問しました。



おの やすひろ
小野 泰宏 議員

(公明党つくば)



「地域とともにある学校づくり」を望む

(質問) コミュニティ・スクールとは、学校と保護者や地域の方々が一緒に協働しながら、「地域とともにある学校づくり」を進める取り組みである。現在の取り組み状況や課題、今後の予定について伺いたい。

(答弁) 現在は、学園単位での導入を進めている。令和 5 年度は、法に基づいたコミュニティ・スクール協議会を 1 学園に設置し、その前段としてのコミュニティ・スクール推進会議を 8 学園で導入し、9 学園共に計画どおり進んでいる。課題としては、市民および選出委員へのコミュニティ・スクールの趣旨の周知、研修機会の提供と学園間での活動内容の共通理解などがある。そのため、チラシ、リーフレット、動画を作成し、市 HP への掲載、区会回覧、学園便りや学校便り、スクリアプリ配信などで周知するようにした。また、コミュニティ・スクールの目的や趣旨を正しく理解してもらえるよう、令和 4 年度は教職員、地域住民、学校評議員、PTA などの支援団体に説明会や研修を行った。令和 5 年度は、学園間の課題とその解決方法、事例紹介などを研修会で共有していきたいと考えている。今後は、令和 6 年度に 6 学園、令和 7 年度に 3 学園で新たに導入し、令和 7 年度末までに市内全学園へ導入予定である。

(要望) 地域の方々にも、やりがいの場、生涯学習の場と機会を提供するのが、コミュニティ・スクールである。人との触れ合いの中で、自分自身も成長しているという実感が持てれば、人は輝くと考える。ぜひ、着実な取り組み、支援をお願いしたい。

このほか、重点支援地方交付金における市の対応について質問しました。



つかもと ようじ
塚本 洋二 議員

(自民党政清クラブ)



研究学園地区周辺の渋滞対策について

(質問) 研究学園地区の道路では、渋滞や混雑が見受けられますが、①現在の状況とその対策と②今後の対策と課題について伺う。

(答弁) ①当地区の道路状況は、平日の通勤時間帯を始め、休日には、大型商業施設や各店舗などを利用する車両が多く流入し、一部区間で渋滞が見受けられる。対策として、令和 4 年度に、葛城西線の渋滞緩和を目的に、迂回を促す案内標識を主要地方道土浦境線や周辺の市道に設置したほか、注意喚起看板の設置や路面標示を行った。令和 5 年度は、新都市中央通り線から葛城西線への流入を減らすため、迂回を促す案内標識の設置を予定している。また、交通量調査を実施し、対策前後のデータの比較検証を現在進めている。②当地区は、道路拡幅などの対策が難しいため、車両を集中させない方策や信号機の制御などの対策が課題である。今後は、道路管理者である県と市および交通管理者である警察と連携を図り、渋滞解消に向けた対策を検討している。

(質問) 東光台東交差点と、学園の森西交差点の右折矢印信号の設置について伺う。

(答弁) 東光台東交差点については、令和 5 年度に設置できるように警察署と協議している。学園の森西交差点も警察と協議しているが、設置については検討中で、まだ決まっていない。

このほか、つくば駅利用者等の自家用車送迎時の駐停車場および降車場所の現状と課題について、教育行政として部活動の地域移行の現状と今後の見通しと課題について質問しました。



なかむら しげお
中村 重雄 議員

(新緑会)



学校施設の老朽化の対応について

(質問) 建設年度の古い校舎について、学校施設の長寿命化計画はどうなっているのか。

(答弁) 学校施設については、令和 3 年 3 月に「つくば市学校施設長寿命化計画」を策定している。計画策定に当たっては、校舎、屋内運動場および武道場の施設について劣化状況を調査し、改修して使用する上で問題がない場合には、予防保全の考え方にに基づき、計画的に改修を実施しながら建築から 80 年の施設使用を目指すものである。

(質問) つくば市民・学校プールが来年度供用開始するが、どこの学校が使用するのか。

(答弁) つくば市民・学校プールを使用する学校は、香取台小学校、研究学園小学校、研究学園中学校、みどりの南小学校、みどりの南中学校、島名小学校、真瀬小学校、みどりの学園義務教育学校、学園の森義務教育学校の 9 校である。なお、谷田部小学校と谷田部南小学校についても、今後のプールの老朽化などを鑑みて、つくば市民・学校プールへの移行を検討している。



このほか、新設校の通学路の安全対策について質問しました。



きむら きよたか
木村 清隆 議員

(清郷会)



孤独・孤立対策推進法について

(質問) 孤独・孤立対策推進法が令和6年4月1日に施行され、これは「孤独・孤立に悩む人を誰ひとり取り残さない社会」「相互に支え合い、人と人の「つながり」が生まれる社会」を目指す法である。①子ども、現役世代や高齢者に対する、これまでの市の孤独孤立対策、②法施行に向けた市の取り組み準備について伺う。

(答弁) ①「保健部」では、妊産婦に対し、妊娠届出時の面接などを通じて対象者を発見し、保健師などが相談支援をしている。また、ひきこもりに関する庁内連携会議を開催し、関係部署の課題共有や、マニュアル作成をしている。「こども部」では、誰もが居場所として利用できるみんなの食堂の運営団体に対する補助金交付と、18歳未満の子どもやその保護者、妊産婦を対象とした家庭児童相談事業を実施している。「教育局」では、児童生徒が孤独や孤立を感じやすい、いじめ、不登校、性的マイノリティ、ヤングケアラーなどに関する取り組みをしている。「福祉部」では高齢者に対し、高齢者憩いの広場運営補助事業、シルバークラブ育成事業、閉じこもりを予防する傾聴ボランティア事業、地域の民生委員・児童委員による見守り活動などを実施している。また、高齢者などの総合相談窓口である地域包括支援センターを設置している。②あらゆる世代が、各ライフステージで課題に直面していることを踏まえ、これまでの取り組みを整理するとともに、国、県の動向を見据えながら、関係機関や団体と連携して実施していく。

このほか、学校施設も含め公共スポーツ施設の利用状況および管理と予約システムについて質問した。



こむら まさふみ
小村 政文 議員

(創生クラブ)



ごみを戸別収集して!

(質問) 市では、家庭系一般ごみを集積所まで持っていくステーション方式でごみを収集しているが、高齢化や区会加入率の低下で、ステーション方式が維持できなくなっていくそう。戸別収集の実施について伺う。

(答弁) 現在、集積所の設置基準は、おおむね10世帯に1カ所としているが、地域の実情やニーズなどに合わせ、柔軟に対応している。また、今後の高齢化社会などを見据え、福祉部門と連携し、高齢者などのごみ出し支援の方策を検討している。今後は、戸別収集を行う他自治体の事例などを調査研究していく。現状のごみ収集業務の課題の一つとして、不適正なごみ出しが原因で発生した、ごみ収集車の火災事故が挙げられ、収集業務の遅れや代替車の確保、運転手の人命に関わるなど、収集運搬業者の大きな負担となっている。このことから、ごみ分別に対する啓発を、市広報紙、HP、ごみ分別アプリ、SNSやごみの出し方カレンダーなど、さまざまな方法で広く市民に周知している。スマート化による収集は、出す側と回収する側の双方の視点が非常に重要だと思う。出す側について、スーパーシティでロボットによるゴミ出し支援を試しており、規制緩和などを求めていきたいと思う。収集側のスマート化も、さまざまな地区での事例を研究してルート最適化をするなど、両面からスマート化を進めたい。



このほか、中心市街地での文化醸成について質問した。



議会中継
録画配信

▶ 本会議(定例会・臨時会)の開催時間は生中継をご覧いただけます。



配信ページ

▶ 本会議や委員会などの、各開催日の3日後(休日を除く)から録画映像を視聴することができます。

傍聴される方への
お願い

▶ **マスク**は各自の判断でご着用ください。

▶ 傍聴受付に設置した**消毒液はご自由に**ご使用ください。



傍聴の案内

広報広聴委員

| | |
|------|--------|
| 委員長 | 小村 政文 |
| 副委員長 | 川久保皆実 |
| 委員 | 宮本 達也 |
| 委員 | 川村 直子 |
| 委員 | 山中 真弓 |
| 委員 | 小森谷さやか |
| 委員 | 神谷 大蔵 |
| 委員 | 小久保貴史 |

☎ 議会局議会総務課 029-883-1111 (内線 6110・6120・6130)



くろだ けんすけ
黒田 健祐 議員

(つくば自民党)



つくバス減便に伴う公共交通政策について

(質問) 人材不足と時間外労働の規制により減便が報じられているが、市の公共交通政策への影響について伺う。

(答弁) 令和6年4月からバス運転士の改善基準告示の改正や慢性化したバス運転士不足の対応のため、つくバスの減便を予定している。つくバスは、通勤や通学利用が多く、利用者への影響が懸念される。特に平日の朝便と夜便に優先的にバス運転士を確保し、運行時間を調整して影響を最小減にとどめるよう、関東鉄道株式会社と調整している。現時点では昼間時間帯が主に減便となり、平日・土日休日共317便から、平日が273便、土日祝日が213便を想定している。

(質問) 昼間時間帯での減便が大きいとのことであるが、この時間帯の利用者の多くは高齢者ではないかと推測される。実際、減便されることにより、高齢者から不安の声も聞こえてくる。つくバスの減便に伴う高齢者の移動について伺う。

(答弁) つくバス減便に伴う高齢者の移動については、一般のタクシーやつくタク、福祉タクシー助成券などを活用いただきたいと考えている。高齢者利用の多いつくタクでは、12月から3カ月間、AIオンデマンドシステムの実証実験を行っており、アプリで24時間ウェブ予約に対応するほか、効率的に配車して1時間に複数回運行を行うことについて、効果検証を行う。これからも利便性が高く、多くの方が利用できる環境作りに努める。

このほか、高齢者日常生活支援事業(すけっとくん)について質問した。

期日 令和5年10月23日～10月24日
場所 神奈川県箱根町
静岡県伊豆市

内容 箱根町では、箱根ジオミュージアムの現地視察を行った。施設には火山を由来とした箱根ジオパークの自然・歴史が分かる展示や火山の驚異を紹介する場所のほか、巨大な箱根地区3D立体地図や子育て世代向けの絵本が置かれた部屋など、各世代が学べる配慮がなされていた。また、拠点施設以外にも出張授業での地域学習やジオパークサポーター活動などを通じて連携し、協力を行っている。

伊豆市では、伊豆半島ジオパークミュージアム「ジオリア」の現地視察を行った。施設内のシアターでは、南方の火山島であった伊豆半島が北に移動し本州と衝突して日本列島となった歴史を映像で学ぶことができ、伊豆半島が特異な地理を有す

期日 令和5年10月30日～10月31日
場所 栃木県宇都宮市
茨城県水戸市

内容 宇都宮市が整備した最終処分場であるエコパーク下横倉は、埋め立て物の飛散防止や騒音・振動の低減などが図られること、および効率的な人工散水により、浸出水処理施設の規模がコンパクトとなり、コスト削減が図れることから、埋め立て地を建物で覆う全体被膜方式とした。事業費は、本体施設建設工事、付帯工事などで計約100億円である。また、地元説明会などで丁寧な説明したことで、地元への理解を得られたとのことであった。

水戸市一般廃棄物第三最終処分場は、従来型のオープン式ではなく、埋め立て面を閉鎖型の構造物で被覆しており、施設内部の粉じんなどの外部への流出を防止するほか、浸出水の発生については自然降雨に関係なく人工的にコン



箱根町



伊豆市

ることが良く分かるものだった。ほかにも、プロジェクトシンポジウムを行い伊豆半島の地理の特徴を浮かび上がらせる展示など、世代を問わず学べる工夫が多くなされていた。今回の視察の内容を参考に、今後の市政発展に生かしていきたい。

トイレができるため、浸出水処理水を外部の公共用水域に放流することなく埋め立て地内への散水に循環利用するなど、周辺環境への影響に配慮した最新式の施設となっている。どちらも、市が最終処分場を検討していくに当たり、大変参考になるものであった。



宇都宮市



水戸市

最終処分場に関する調査特別委員会

ジオパーク推進特別委員会

行政視察報告

期日 令和5年10月12日～10月13日
場所 福島県いわき市
埼玉県上尾市

内容 いわき市総合体育館は、老朽化が進んだため、令和元年に大規模改修を行った。当該体育館では、風の影響を受ける競技大会の実施が多いため、「輻射式冷暖房パネル」を設置したが、空調設備利用時の施設利用料には減価償却費と電気料金が上乗せしているため、物価高による電気料金高騰が課題となっている。

スポーツ施設調査特別委員会

広報広聴委員会

期日 令和5年11月8日～11月9日
場所 栃木県足利市
栃木県高根沢町

内容 足利市議会では、議会だよりのリニューアルに当たり、全議員でワークショップ形式での勉強会を実施した。文字数の調整やQRコードを利用するほか、大きな3つの改善点として、特集記事の創設や一般質問の掲載方法の変更、市内高校生を紹介する連載の新設がある。また、定点観測のためにアンケートも



いわき市

上尾市は、令和4年、市民一人一人の健康意識の醸成を図り、心身ともに健康で元気な健康長寿社会の実現に向けた施策を推進するため、「上尾市スポーツ健康都市宣言」を行った。また、平成25年に上尾市民体育館のアーリーナ内に空調設備を整備したことで、利用者の運動パフォーマンス向上、夏場の



足利市

実施している。現状、企画は委員で考え、レイアウトは事務局で作成し、最後の微調整を業者が行っている。高根沢町議会では、年4回、広報と広報の各委員会を連動させる仕組みができています。議会報告会は団体募集形



上尾市

熱中症対策、冬場の低温時におけるスポーツ傷害予防効果を期待している。また、エネルギーコスト高騰への対処や設備更新費用の捻出を、今後の課題として挙げている。どちらの視察先の事例も大変参考になるものであり、今後の市の行政運営に生かしていきたい。



高根沢町

式でテーマを定め、広報に特化した内容を実施している。実施後は、数多くの要望から吟味して提言を出している。議会だよりは、記事の作成や画像収集を持つように掲載原稿作成を依頼するなど、より市民の手に行き渡るための工夫をしている。両自治体とも大変参考になるものであった。

WHAT'S 広報広聴委員会？

④開かれた議会、目指しています！

現在、広報広聴委員会から議会の広報広聴の取り組みに関する8つの改善案（施策案）を、全会派に対してアンケートを行い、優先度の高いものから実現に向けて検討を進めています。

開かれた議会に向けた施策案と、各会派から寄せられたさまざまな意見の一部を合わせてご紹介いたします！

施策案①

「つくば市役所1Fでの議会中継」

場所や音は
どうする？

地域交流センター
でも観られる様に

施策案②

「市議会だよりを横書きに」

文字数は
どうなる？

縦と横の使い分け
がよいのでは？

施策案③

「市議会だよりのデザイン改善」

文字数や
大きさが重要

デザインを
よくしたい

施策案④

「議会報告会への手話通訳者派遣」

申請すれば
現状可能

要約筆記も
あればよい

施策案⑤

「議会報告会の拡充」

試行錯誤しながら
改善していこう

会派ごとの
実施も重要

施策案⑥

「議会のSNS運用」

発信内容を
どうしよう

導入してからの
運用が大切

施策案⑦

「YouTubeチャンネルの活用」

偏りのない
活用が必要

中立で
分かりやすく

施策案⑧

「市議会へのご意見フォームの新設」

市民の
安心感に繋がる

スパムなどの
リスクも

みんなでつくろう！

市議会だより！

アンケートで、つくば市議会だよりをもっと読みやすくするアイデアを大募集！
例えば今号で初めて一般質問のページを横書きにしてみたので、読みやすかったかどうかなど皆さまのご意見をお待ちしています！
→のQRコードから教えてください！

また、つくば市役所1Fの市政情報コーナーにて、アンケート用紙と回収BOXも置いています。
つくば市議会HPでも公開しているので、そちらをFAXで送っていただいても大丈夫です。

募集期間：令和6年(2024年)2月末まで

アンケート
QRコード

このQRから
アンケートフォームへ

FAX：029-883-7635

WHAT'S 広報広聴委員会?

つくば市民みんなのための つくば市議会をめざして!!

広報広聴委員会とは…耳慣れない名前ですね。「広辞苑 第6版」によると、「広報」とは「広く知らせること、その知らせ」、また「広聴」とは「行政機関による、住民の行政に対する意見・要望の収集活動」とされています。

つまり、議会で議論されていることを広く知らせ、また市民の皆さまからのご意見や要望などを広く集め、それを議会での議論と行政の施策へ反映させていく、議会と市民の皆さまとの双方向の活動を促進する委員会、ということになります。

そのため、この「つくば市議会だより」を年4回の議会ごとに発行したり、他にも何ができるかを話し合い、さまざまな新たな取り組みにチャレンジ中です！ぜひアンケートでご意見をお寄せください。



広報広聴委員会
メンバー紹介



神谷大蔵
委員



川久保皆実
副委員長



小村政文
委員長



小森谷さやか
委員



小久保貴史
委員



川村直子
委員



山中真弓
委員



宮本達也
委員

①議会だより、つくってます！

原則2・5・8・11月に各定例議会の内容をお知らせするために、つくば市議会だよりを編集・発刊しています。

表紙の写真やテーマカラー、裏面の特集に何を載せるか、どうしたらより関心を持ちやすく、読みやすくなるかなどを話し合っています。

つくば市では全戸配付しているため、もっと読みやすくしていきたいです！アンケート（最後尾にご案内）などから、ぜひ皆さまのアイデアやご意見をお寄せください！



②議会報告会、やっています！

年に1度、つくば市議会の動向を皆さまにお知らせするイベント「議会報告会」を行っています。今年度はYouTubeで9月に行った前年度決算審査を経て、議会から市へ提出した提言内容について配信しています。↓のQRコードからぜひご覧ください。



この動画の企画・撮影・編集は広報広聴委員会のメンバーで話し合いながら丁寧に進めています。

③意見交換会、やっています！

議会報告会に加え、市民の皆さんと議員の直接対話からのご意見を、議会に反映させていくために意見交換会を実施しています。

さらに今年度は、より気軽に参加していただくために、ワークショップ形式で「議会カフェ」と銘打って実施しました。こちらも当日の様子をYouTubeで配信しているので、↓のQRコードからご覧いただくと嬉しいです！



委員会審査



総務文教分科会

【議案第90号】 令和5年度つくば市一般会計補正予算(第5号)

【質疑】教育費 情報教育振興に要する経費に関し、リーディングデザイナーエックススクール事業の内容について

【答弁】文部科学省の初等中等教育段階における生成AIの利用に関する暫定的なガイドラインを踏まえ、希望する学校でパイロット的な取り組みとして、先生方の研修や生徒が実際に使うことで、効果的な教育実践の創出を図り、知見の蓄積を進めるものである。全国53校で実践され、つくば市は4校で行う。

総務文教委員会

【議案第86号】 訴えの提起について

▼審査結果 可決すべき

【質疑】なぜ不正が発覚したのか

【答弁】令和3年12月に市内小学校に通う児童の保護者から、令和2年度の諸経費が重複して引き落とされていたと学校に連絡

があり、平成30年6月から令和3年3月まで、給食費と児童会費の不明金の発生が発覚した。令和2年度まで同小学校の諸経費担当だった県費負担職員に市で聞き取りしたところ、学校給食費などの処理時に不明金を発生させ、その責任の所在が自分にあることを認めた。

福祉保健分科会

【議案第90号】 令和5年度つくば市一般会計補正予算(第5号)

【質疑】衛生費 母子健康審査に要する経費に関し、母子健診等オンライン予約アプリの利用方法、契約期間、費用について

【答弁】「つくつくこーすくすくアプリ」に機能を追加し、三歳児健診などで、3カ月程度内の候補日から日付と会場を選択できるようにする。多言語にも対応し、つくスマとも連携予定である。令和5年度1〜3月を準備期間、4月に導入の予定で、初期導入費用84万7千円、税抜月額4万9500円である。3月に個別通知を予定している。

福祉保健委員会

【議案第97号】 つくば市国民健康保険条例の一部を改正する条例について

▼審査結果 可決すべき

【質疑】衛生費 対象基準、申請の有無、周知方法について

【答弁】単胎出産では出産月の前月から4カ月、多胎出産では出産月の3カ月前から6カ月が対象となる。減税を受ける場合は5年以内に申請が必要である。個別通知はせず、HPなどで周知する予定だが、出産関連書類へのチラシ同封や、未申請者への通知は検討している。

市民経済分科会

【議案第90号】 令和5年度つくば市一般会計補正予算(第5号)

【質疑】農林水産業費 水田農業構造改革推進に要する経費 葦崎地区水稲被害支援協力金に関し、市の見舞金の対象について

【答弁】葦崎地区で6月に災害があった地域について、来年度も水田を営農する方に支給する。

【質疑】見舞金は1件5万円で、80団体が対象か

【答弁】県の農業改良普及センターと連携し現地調査を行った。つくばみらい市や竜ヶ崎市とまたがって耕作する方もいるため、両市と協力し検討してきた。農業者やJAへのヒアリングを踏まえ3市で協議し、50%以上被害を受けた水田エリアに交付することとした。その被害対象が

80経営体であり、一律5万円、予算400万円を計上した。

市民経済委員会

【議案第104号】 つくば市救急隊不搬送事案検証委員会条例について

▼審査結果 可決すべき

【質疑】委員会人数も含め、全国的に議案で提示された形なのか

【答弁】今回の検証には法的知見・医学的知見が必要と考えている。地方公務員法の「人事機関」の部分を参考にし、委員数は弁護士2名、医師1名の3名を予定している。

都市建設分科会

【議案第121号】 つくば市都市公園条例の一部を改正する条例について

【質疑】指定管理者による管理を規定する第14条の2が削除されているが、今後公園の運営で指定管理者の指定は行わないのか

【答弁】現在、指定管理者制度での運営ではないため削除したもので、今後の公園運営は、直営、委託および指定管理を含め検討する。

【質疑】県による洞峰公園の補修の状況について

【答弁】不具合箇所は現在補修しており、市への移管前に修繕は完了することになっている。

都市建設委員会

【議案第103号】 つくば市再生可能エネルギー発電設備の適正な設置及び管理に関する条例について

外3件

いずれも、質疑、自由討議討論はなし。

予算決算委員会

【議案第118号】 令和5年度つくば市一般会計補正予算(第6号) 原案可決

【反対討論】市長が知事と会って話を詰めておらず、毎年2億円の維持管理費に加え、将来、改築費が必ずかかる。アンケートは記名式で住所も名前も書けない状況であり、正確なものではないと考え、洞峰公園の予算を含む補正予算には反対する。

【賛成討論】国の総合経済対策の補正予算であり、支援策の早期開始のための増額補正である。洞峰公園については、市の持続可能なまちづくり、SDGsの基本理念に合致し、市に無償譲渡された場合は、県の長寿命化計画を引き継ぎ、国庫補助金を活用できるので原案に賛成する。

議案等審議

【議案第121号】 つくば市都市公園条例の一部を改正する条例について

原案可決

【反対討論】洞峰公園の無償移管において、市長の対応には問題があり、洞峰公園内施設の維持管理費についても、県の健全度調査結果から算出した費用と大きく乖離する。このような状況で、記名式アンケートで意見を募るようなやり方では、広範な市民から忌憚なき意見を聴取できておらず、予算計上は時期尚早と考え反対する。

【賛成討論】同一者による複数回答を防ぐためにアンケートを記名式にしたことには納得する。他の記名式アンケートでも、反対者の声は上がり、市民が意見を表明しにくいことはない。また、市長だけでなく担当者間でも2年以上協議を重ねている。県は移管前に修繕を進め、市も目標使用年数80年の実現に向け長寿命化計画を策定し、移管後も協議会を設置することになっているので賛成する。

議案第118号 修正案



議案第121号 修正案



提出された修正案

令和 5 年 12 月定例会議案等議決結果一覧

| 報告案件 | 案件名 | 議決結果 |
|--|-----------------------|--|
| 【報告第 33 号】 専決処分事項の報告について | 【議案第 113 号】 財産の取得について | 原案可決 |
| 【報告第 34 号】 専決処分事項の報告について | 【議案第 114 号】 財産の取得について | 原案可決 |
| 案件名 | 議決結果 | 議決結果 |
| 【議案第 90 号】 令和 5 年度つくば市一般会計補正予算 (第 5 号) | 原案可決 | 【議案第 115 号】 財産の取得について 原案可決 |
| 【議案第 91 号】 令和 5 年度つくば市国民健康保険特別会計補正予算 (第 2 号) | 原案可決 | 【議案第 116 号】 財産の取得について 原案可決 |
| 【議案第 92 号】 令和 5 年度つくば市後期高齢者医療特別会計補正予算 (第 2 号) | 原案可決 | 【議案第 117 号】 訴えの提起について 原案可決 |
| 【議案第 93 号】 令和 5 年度つくば市介護保険事業特別会計補正予算 (第 2 号) | 原案可決 | 【議案第 118 号】 令和 5 年度つくば市一般会計補正予算 (第 6 号) 原案可決 |
| 【議案第 94 号】 令和 5 年度つくば市水道事業会計補正予算 (第 2 号) | 原案可決 | 【議案第 119 号】 令和 5 年度つくば市水道事業会計補正予算 (第 3 号) 原案可決 |
| 【議案第 95 号】 令和 5 年度つくば市下水道事業会計補正予算 (第 1 号) | 原案可決 | 【議案第 120 号】 令和 5 年度つくば市下水道事業会計補正予算 (第 2 号) 原案可決 |
| 【議案第 96 号】 つくば市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について | 原案可決 | 【議案第 121 号】 つくば市都市公園条例の一部を改正する条例について 原案可決 |
| 【議案第 97 号】 つくば市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について | 原案可決 | 【議案第 122 号】 サイクルパークつくばの指定管理者の指定について 原案可決 |
| 【議案第 98 号】 つくば市立保育所条例の一部を改正する条例について | 原案可決 | 【議案第 123 号】 つくば市立児童館及びつくば市立放課後児童室条例の一部を改正する条例について 原案可決 |
| 【議案第 99 号】 つくば市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について | 原案可決 | 委員会提出議案 |
| 【議案第 100 号】 つくば市印鑑条例の一部を改正する条例について | 原案可決 | 【委第 4 号議案】 つくば市議会基本条例の一部を改正する条例について 原案可決 |
| 【議案第 101 号】 つくば市火災予防条例の一部を改正する条例について | 原案可決 | 【委第 5 号議案】 つくば市議会会議規則の一部を改正する規則について 原案可決 |
| 【議案第 102 号】 つくば市消防団の定員、任免、報酬、服務等に関する条例の一部を改正する条例について | 原案可決 | 【委第 6 号議案】 つくば市議会委員会条例の一部を改正する条例について 原案可決 |
| 【議案第 103 号】 つくば市再生可能エネルギー発電設備の適正な設置及び管理に関する条例について | 原案可決 | 【委第 7 号議案】 つくば市議会請願条例の一部を改正する条例について 原案可決 |
| 【議案第 104 号】 つくば市救急隊不搬送事案検証委員会条例について | 原案可決 | 【委第 8 号議案】 市長専決処分事項の指定について 原案可決 |
| 【議案第 105 号】 市道路線の廃止について | 原案可決 | 請 願 |
| 【議案第 106 号】 市道路線の変更について | 原案可決 | 【請願 5 第 4 号】 つくば市の小中学校の学校給食費無償化と地場産・有機食材の拡充を求める請願書 趣旨採択 |
| 【議案第 107 号】 つくばウェルネスパークの指定管理者の指定について | 原案可決 | 意見書・決議 |
| 【議案第 108 号】 つくば市民・学校プールの指定管理者の指定について | 原案可決 | 【意見書案第 5 号】 学校給食費無償化の早期実現を国に求める意見書 原案可決 |
| 【議案第 109 号】 財産の取得について | 原案可決 | 【決議案第 1 号】 ガザ危機に関する国連安全保障理事会決議遵守への外交努力を日本政府に求める決議 原案可決 |
| 【議案第 110 号】 財産の取得について | 原案可決 | |
| 【議案第 111 号】 財産の取得について | 原案可決 | |
| 【議案第 112 号】 財産の取得について | 原案可決 | |



議案の審議
状況と
議決結果



請願
一覧



意見書
一覧

詳細は QR コード参照




令和 5 年 12 月定例会議員賛否一覧 (議案などに対して賛否の分かれたものを、議員からの申し出に基づき掲載)

| 議案等番号 | つくば自民党 | | | | | 自民党政清クラブ | | | | | つくば・市民ネットワーク | | | 公明党つくば | | 日本共産党つくば市議団 | | 創生クラブ | | つ | 緑 | 清 | 山 | 社 | | |
|------------|--------|-------|-------|--------|----------|----------|-------|-------|-------|-------|--------------|-------|---------|---------|-------|-------------|-------|-------|-------|---|---|---|---|---|-------|-------|
| | 長塚 俊宏 | 黒田 健祐 | 神谷 大蔵 | 小久保 貴史 | 五頭 泰誠 議長 | 久保谷 孝夫 | 宮本 達也 | 木村 修寿 | 塚本 洋二 | 飯岡 宏之 | 鈴木 富士雄 | 川村 直子 | あさの えくこ | 小森谷 さやか | 皆川 幸枝 | 浜中 勝美 | 小野 泰宏 | 山中 真弓 | 橋本 佳子 | | | | | | 小村 政文 | 高野 文男 |
| 議案第 98 号 | ○ | ○ | ○ | ○ | — | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × |
| 議案第 100 号 | ○ | ○ | ○ | ○ | — | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × |
| 議案第 118 号 | ○ | ○ | ○ | ○ | — | ○ | × | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ |
| 議案第 121 号 | ○ | ○ | ○ | ○ | — | ○ | × | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ |
| 請願 5 第 4 号 | ○ | ○ | ○ | ○ | — | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※ 「○」は賛成、「×」は反対、「欠」は欠席。議長は可否同数の場合または特別多数議決の場合以外は表決に加わらない。
 ※ 会派名 (議席番号順) つ=つくばチェンジチャレンジ 緑=新緑会 清=清郷会 山=山中八策の会 社=新社会党つくば

広報広聴委員会の取り組み

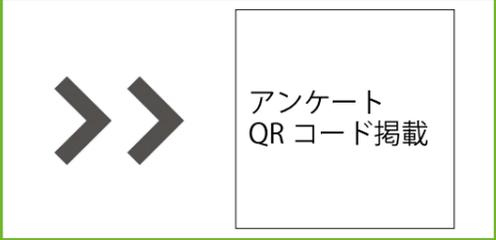
つくば市議会広報広聴委員会では、現在、大きく4つの項目について取り組んでいます！

① 議会だより、つくってます！

今年度発行号はこちら！



議会だよりを読みやすくするためのアンケートを実施中！



② 議会報告会、やっています！



動画はこちらからご覧ください！

③ 意見交換会、やっています！



④ 開かれた議会、目指しています！

▶ 詳細は P. 8～9 ページへ